

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年6月26日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23187号	モベントフロアブル	スピロテトラマト水和剤	バイエルクロップサイエンス(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・適用作物名「トマト及びミニトマト」の使用法「灌注」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピロテトラマトを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 トマトサビダニ	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内 (灌注は 1回以内)
	アザミウマ類 トマトサビダニ	1000倍	50mL/株	育苗期後半	1回	灌注	
	アブラムシ類 コナジラミ類		25～50 mL/株				

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピロテトラマトを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 トマトサビダニ	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内

【申請者による変更理由】

登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年5月30日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 16300 号	トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	日本曹達株式会社
第 16301 号	石原トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	石原産業株式会社
第 23498 号	協友トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	協友アグリ株式会社

■変更内容

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

- 作物名「いちじく」について次のとおり変更する。
 - ・ 使用方法「灌注」について本剤の使用回数を「4回以内」に変更する。
 - ・ 使用方法「灌注」について使用量を「1～10 L/株」に変更する。
 - ・ 使用時期を「収穫前日まで」に変更する。
 - ・ トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数を「7回以内（散布は3回以内、灌注は4回以内）」に変更する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
いちじく	株枯病	500 倍	1L/株	定植時及び 生育期 但し、収穫 30 日 前まで	6 回以内	灌注	6 回以内 (散布は 3 回以内)
	さび病 そうか病	2000 倍	200～ 700L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
いちじく	株枯病	500 倍	1～10L/株	収穫前日 まで	4 回以内	灌注	7 回以内 (散布は 3 回以内、 灌注は 4 回以内)
	さび病 そうか病	2000 倍	200～ 700L/10a		3 回以内	散布	

【 申請者による変更理由 】

使用液量を変更し使用時期を短縮するため使用回数を変更する。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年5月30日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17324号	ルミライト水和剤	チオファネートメチル・トリフルミゾール水和剤	日本曹達株式会社

■変更内容

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- 作物名「いちじく」について次のとおり変更する。
 - ・ 本剤の使用回数を「4回以内」に変更する。
 - ・ 使用時期を「収穫前日まで」に変更する。
 - ・ トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数を「7回以内（散布は3回以内、灌注は4回以内）」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
いちじく	株枯病	500倍	定植時および5～10月 但し、収穫30日前まで	6回以内	1株当たり1L灌注	14回以内（塗布は3回以内、灌注は6回以内、散布は5回以内）	6回以内（散布は3回以内）

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
いちじく	株枯病	500倍	1L/株	収穫前日まで	4回以内	灌注	14回以内（塗布は3回以内、灌注は6回以内、散布は5回以内）	7回以内（散布は3回以内、灌注は4回以内）

【申請者による変更理由】

使用時期を短縮するため使用回数を変更する。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年8月7日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18750号	石原フロンサイドSC	フルアジナム水和剤	石原産業株式会社
第18751号	日曹フロンサイドSC	フルアジナム水和剤	日本曹達株式会社
第22631号	ホクサンフロンサイドSC	フルアジナム水和剤	ホクサン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「キウイフルーツ」の使用方法「散布」の使用時期を「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
キウイフルーツ	灰色かび病 果実軟腐病	2000倍	200～700 L/10a	収穫7日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は 1回以内、 土壌灌注は 1回以内)

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
キウイフルーツ	灰色かび病 果実軟腐病	2000倍	200～700 L/10a	収穫30日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は 1回以内、 土壌灌注は 1回以内)

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第11995号	ラビライト水和剤	チオファネートメチル・マンネブ水和剤	日本曹達㈱
第11996号	クミアイラビライト水和剤	チオファネートメチル・マンネブ水和剤	クミアイ化学工業㈱

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「りんご」の本剤の使用回数およびマンネブを含む農薬の総使用回数「2回以内」を「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

別紙

【申請者による変更理由】

作物名「りんご」について農薬使用者の強い要望により、使用時期「収穫 60 日前まで」を「収穫 30 日前まで」に短縮し、それに伴いジチオカルバメートの残留農薬基準値を超過しない範囲とするため。

別紙

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	マンネブを含む農薬の総使用回数
りんご	すす点病 すす斑病 黒点病 炭疽病 うどんこ病 褐斑病 黒星病 斑点落葉病 輪紋病 腐らん病	500～ 600倍	200～ 700L/10a	収穫60日 前まで	2回以内	散布	10回以内 (塗布は3回以内、 灌注は1回以内、 散布は6回以内)	2回以内

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	マンネブを含む農薬の総使用回数
りんご	すす点病 すす斑病 黒点病 炭疽病 うどんこ病 褐斑病 黒星病 斑点落葉病 輪紋病 腐らん病	500～ 600倍	200～ 700L/10a	収穫30日 前まで	1回	散布	10回以内 (塗布は3回以内、 灌注は1回以内、 散布は6回以内)	1回

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第10557号	エムダイファー水和剤	マンネブ水和剤	クミアイ化学工業(株)
第10559号	サンケイエムダイファー水和剤	マンネブ水和剤	サンケイ化学(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「りんご」の本剤の使用回数およびマンネブを含む農薬の総使用回数「2回以内」を「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンネブを含む農薬の総使用回数
りんご	黒点病	400～650倍	-	収穫60日前まで	2回以内	散布	2回以内

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンネブを含む農薬の総使用回数
りんご	黒点病	400～650倍	200～700L/10a	収穫30日前まで	1回	散布	1回

【申請者による変更理由】

作物名「りんご」について農薬使用者の強い要望により、使用時期「収穫60日前まで」を「収穫30日前まで」に短縮し、それに伴いジチオカルバメートの残留農薬基準値を超過しない範囲とするため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22774号	タチガレエースM液剤	ヒドロキシイソキサゾール・メタキシム液剤	三井化学アグロ株式会社
第22899号	ホクサンタチガレエースM液剤	ヒドロキシイソキサゾール・メタキシム液剤	ホクサン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「稲(箱育苗)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。
- ・作物名「稲(湛水直播)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「2回以内(種もみへの処理は1回以内、本田では1回以内)」から「1回」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ヒドロキシイソ ゾールを含む 農薬の総使 用回数	マラキシル及び タキシムを含 む農薬の総 使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ビシウム菌) ムレ苗防止 根の生育促進 移植時の活着促進	500～ 1000倍	育苗箱 (30×60× 3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 500mL	は種時 又は 発芽後	1回	土壌 灌注	4回以内 (移植前の 土壌混和 は1回以 内、移植前 の土壌灌 注は2回 以内、本田 では1回 以内)	4回以内 (移植前の土 壌混和は1 回以内、育苗 箱への灌注 は1回以内、 本田では2 回以内)
		1000倍	育苗箱 (30×60× 3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り1 L	は種時				
稲(湛水 直播)	苗腐病 (ビシウム菌)	2.5～ 5倍	乾燥種籾 1kg当り 30mL	は種前		鉄コーテ ィング種 子に吹き 付け処理	2回以内 (種もみへ の処理は1 回以内、本 田では1回 以内)	3回以内 (種もみへの 処理は1回 以内、本田で は2回以内)

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ヒドロキシイソ ゾールを含む 農薬の総使 用回数	マラキシル及び タキシムを含 む農薬の総 使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ビシウム菌) ムレ苗防止 根の生育促進 移植時の活着促進	500～ 1000倍	育苗箱 (30×60× 3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 500mL	は種時 又は 発芽後	1回	土壌 灌注	3回以内 (移植前の 土壌混和 は1回以 内、移植前 の土壌灌 注は2回 以内)	4回以内 (移植前の土 壌混和は1 回以内、育苗 箱への灌注 は1回以内、 本田では2 回以内)
		1000倍	育苗箱 (30×60× 3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り1 L	は種時				
稲(湛水 直播)	苗腐病 (ビシウム菌)	2.5～ 5倍	乾燥種籾 1kg当り 30mL	は種前		鉄コーテ ィング種 子に吹き 付け処理	1回	3回以内 (種もみへの 処理は1回 以内、本田で は2回以内)

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22773号	タチガレエースM粉剤	ヒドロキシイソキサゾール・メタキシム粉剤	三井化学アグロ株式会社
第22898号	ホクサンタチガレエースM粉剤	ヒドロキシイソキサゾール・メタキシム粉剤	ホクサン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「稲(箱育苗)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。
- ・作物名「稲(湛水直播)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「2回以内(種もみへの処理は1回以内、本田では1回以内)」から「1回」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病虫害名 使用目的	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシノキサール を含む農薬の 総使用回数	メタキシル及び メタキシルM を含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (ピシウム菌) 苗立枯病 (フザリウム菌) ムレ苗防止 根の生育促進	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 約5L) 1箱 当り 6～8g	は種前	1回	育苗箱 土壌に 均一に 混和	4回以内 (移植前の土壌 混和は1回以 内、移植前の土 壌灌注は2回以 内、本田では1 回以内)	4回以内 (移植前の土 壌混和は1回 以内、育苗箱 への灌注は1 回以内、本田 では2回以 内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進 による 苗立の安定	乾籾重量の3 %			過酸化カ ルシウム 剤に添加 して種籾 に粉衣す る。	2回以内 (種もみへの処 理は1回以内、 本田では1回以 内)	3回以内 (種もみへの 処理は1回以 内、本田では 2回以内)

〔変更後〕

作物名	適用病虫害名 使用目的	使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシノキサール を含む農薬の 総使用回数	メタキシル及び メタキシルM を含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (ピシウム菌) 苗立枯病 (フザリウム菌) ムレ苗防止 根の生育促進	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 約5L) 1箱 当り 6～8g	は種前	1回	育苗箱 土壌に 均一に 混和	3回以内 (移植前の土壌 混和は1回以 内、移植前の土 壌灌注は2回以 内)	4回以内 (移植前の土 壌混和は1回 以内、育苗箱 への灌注は1 回以内、本田 では2回以 内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進 による 苗立の安定	乾籾重量の3 %			過酸化カ ルシウム 剤に添加 して種籾 に粉衣す る。	1回	3回以内 (種もみへの 処理は1回以 内、本田では 2回以内)

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23677号	タチガレフアイト液剤	ヒドロキシイソキサゾール複合肥料	宇都宮化成工業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（適用削除および今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「稲(箱育苗)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病虫害名 使用目的	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒトロキシイキサザール を含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進	500～ 600倍	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5 L) 1箱当り 500～1000mL	は種時及 び発芽後	2回 以内	土壌灌注	4回以内 (移植前の土壌 混和は1回以 内、移植前の土 壌灌注は2回以 内、本田では1 回以内)
		300倍	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5 L) 1箱当り 500mL				
	250～ 300倍	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5 L) 1箱当り 500mL					
	500～ 600倍	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5 L) 1箱当り 500～1000mL					

〔変更後〕

作物名	適用病虫害名 使用目的	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒトロキシイキサザール を含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進	500～ 600倍	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5 L) 1箱当り 500～1000mL	は種時及 び発芽後	2回 以内	土壌灌注	3回以内 (移植前の土壌 混和は1回以 内、移植前の土 壌灌注は2回以 内)
		300倍	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5 L) 1箱当り 500mL				
	250～ 300倍	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5 L) 1箱当り 500mL					
	500～ 600倍	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5 L) 1箱当り 500～1000mL					

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第10331号	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール液剤	三井化学アグロ株式会社
第10332号	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール液剤	ホクサン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（適用削除および今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「稲」、使用目的「登熟歩合向上」を削除する。
- ・作物名「稲(箱育苗)」、「稲(折衷苗代)」及び「稲(畑苗代)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。
- ・作物名「すいか」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾール を含む農薬の総 使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	500～ 1000倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約5L)1 箱当り 500mL	は種時及び 発芽後	2回 以内	土壌灌注	4回以内 (移植前の土壌 混和は1回以 内、移植前の土 壌灌注は2回以 内、本田では1 回以内)
	ごま葉枯病	500倍		は種時	1回		
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	1000倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約5L)1 箱当り1L	は種時及び 発芽後	2回 以内		
	ごま葉枯病			は種時	1回		
稲 (折衷 苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	500倍	1L/m ²	は種直後 及び発芽後	2回 以内		

[変更前] (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒトロキシイキサザール を含む農薬の総 使用回数
稲 (畑苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ビシウム菌)	1000 倍	3 L/m ²	は種直後 及び発芽後	2 回 以内	土壌灌注	4 回以内 (移植前の土壌 混和は 1 回以 内、移植前の土 壌灌注は 2 回以 内、本田では 1 回以内)
	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進			は種直後			
稲	登熟歩合向上	500 倍	150L/10a	出穂直前～ 出穂期	1 回	散布	4 回以内 (種もみへの処 理は 1 回以内、 移植前の土壌混 和は 1 回以内、 移植前の土壌灌 注は 2 回以内、 本田では 1 回以 内)
		原液	0.3L/10a			空中散布	
		3 倍	0.8L/10a			無人ヘリコプターに よる散布	
すいか	苗立枯病	500～ 1000 倍	3 L/m ²	は種直後	2 回 以内	苗床灌注	2 回以内 (育苗土壌への 混和は 1 回以 内、苗床への灌 注は 1 回以内)

[変更後]

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒトロキシイキサザール を含む農薬の総 使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ビシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	500～ 1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約 5L) 1 箱当り 500mL	は種時及び 発芽後	2 回 以内	土壌灌注	3 回以内 (移植前の土壌 混和は 1 回以 内、移植前の土 壌灌注は 2 回以 内)
	ごま葉枯病			500 倍			
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ビシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約 5L) 1 箱当り 1L	は種時及び 発芽後	2 回 以内		
	ごま葉枯病			は種時			

【変更後】 (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシベンザール を含む農薬の総 使用回数
稲 (折衷 苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌)	500 倍	1 L/m ²	は種直後 及び発芽後	2 回 以内	土壌灌注	3 回以内 (移植前の土壌 混和は 1 回以 内、移植前の土 壌灌注は 2 回以 内)
稲 (畑苗代)	苗立枯病 (ピシウム菌)	1000 倍	3 L/m ²				
すいか	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進			500～ 1000 倍			

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年10月9日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第10760号	タチガレン粉剤	ヒドロキシイソキサゾール粉剤	三井化学アグロ株式会社
第22323号	タチガレン粉剤	ヒドロキシイソキサゾール粉剤	ホクサン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「稲(箱育苗)」、「稲(折衷苗代)」及び「稲(畑苗代)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。
- ・作物名「稲(湛水直播)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「2回以内(種もみへの処理は1回以内、本田では1回以内)」から「1回」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾールを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 4～8g	は種前	1回	育苗箱土壌 に均一に 混和する。	4回以内 (移植前の土壌混和 は1回以内、移植前 の土壌灌注は2回以 内、本田では1回以 内)
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシウム菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 3～6g				
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシウム菌)	50～100g/m ²			深さ5～10 cmの苗代土 壌に均一に 混和する。	

[変更前] (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒトロキシイキサゾールを 含む農薬の 総使用回数
稲 (折衷苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシウム菌)	50~100g/m ²	は種前	1回	深さ5~10 cmの苗代土 壤に均一に 混和する。	4回以内 (移植前の土壌混和 は1回以内、移植前 の土壌灌注は2回以 内、本田では1回以 内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進 による苗立の 安定	乾籾重量の 3%			過酸化カルシ ウム剤に添加し て種子に湿 粉衣する。	2回以内 (種もみへの処理は 1回以内、本田では 1回以内)

[変更後]

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒトロキシイキサゾールを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り4~8g	は種前	1回	育苗箱土壌 に均一に 混和する。	3回以内 (移植前の土壌混和 は1回以内、移植前 の土壌灌注は2回以 内)
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシウム菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り3~6g				
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシウム菌)	50~100g/m ²			深さ5~10 cmの苗代土 壤に均一に 混和する。	

【変更後】 (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒトロキシイキサゾール を含む農薬の 総使用回数
稲 (折衷苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシム菌)	50～100g/m ²	は種前	1回	深さ5～10 cmの苗代土 壌に均一に 混和する。	3回以内 (移植前の土壌混和 は1回以内、移植前 の土壌灌注は2回 以内)
稲 (湛水直播)	根の生育促進 による苗立の 安定	乾粒重量の 3%			過酸化カルシウム 剤に添加し て種子に湿 粉衣する。	1回

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年 10 月 23 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17121号	石原アタブロン乳剤	クロルフルアズロン乳剤	石原産業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「てんさい」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	クロルフルアズロンを 含む農薬の 総使用回数
てんさい	ヨトウムシ	1000 倍	25L/10a	収穫 30 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内
		2000～ 4000 倍	100～300 L/10a				
	カメノコハムシ	2000 倍					

[変更後]

削除

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第12090号	住友サイアノックス水和剤	CYAP水和剤	住友化学株式会社
第21806号	協友サイアノックス水和剤	CYAP水和剤	協友アグリ株式会社

■ 変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「りんご」の本剤の使用回数およびCYAPを含む農薬の総使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔 変更前 〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	CYAPを含む農薬の総使用回数
りんご	アブラムシ類 キンモンホリガ シクイムシ類 ハマキムシ類 クワコカイガラムシ	1000倍	200～700 L/10a	収穫45日前 まで	2回以内	散布	2回以内

〔 変更後 〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	CYAPを含む農薬の総使用回数
りんご	アブラムシ類 キンモンホリガ シクイムシ類 ハマキムシ類 クワコカイガラムシ	1000倍	200～700 L/10a	収穫14日前 まで	1回	散布	1回

【 申請者による変更理由 】

現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年11月6日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16583号	アグロスリン水和剤	シペルメトリン水和剤	住友化学株式会社
第16584号	クミアイアグロスリン水和剤	シペルメトリン水和剤	クミアイ化学工業株式会社
第16585号	日農アグロスリン水和剤	シペルメトリン水和剤	日本農薬株式会社
第22285号	イカズチWDG	シペルメトリン水和剤	住友化学株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「ぶどう」の使用時期「収穫7日前まで」を「収穫21日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

アグロスリン水和剤、クミアイアグロスリン水和剤、日農アグロスリン水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シペルメトリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ	1000～2000倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内
	チャノキイロアザミマ	1000～3000倍					
	コガネムシ類	2000倍					

イカズチWDG

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シペルメトリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	アザミマ類	1500倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内
	コガネムシ類						
	フタテンヒメヨコバイ						

【 変更後 】

アグロスリン水和剤、クミアイアグロスリン水和剤、日農アグロスリン水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シベルトリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	フタテンヒメコバエ	1000～2000倍	200～700 L/10a	収穫 21 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内
	チャノキイロアザミマ	1000～3000倍					
	コガネムシ類	2000倍					

イカズチWDG

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シベルトリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	アザミマ類	1500倍	200～700 L/10a	収穫 21 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内
	コガネムシ類						
	フタテンヒメコバエ						

【 申請者による変更理由 】

現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年11月6日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第15957号	アディオオン乳剤	ペルメトリン乳剤	住友化学株式会社
第15959号	ホクコーアディオオン乳剤	ペルメトリン乳剤	北興化学工業株式会社
第15960号	サンケイアディオオン乳剤	ペルメトリン乳剤	サンケイ化学株式会社
第15966号	アディオオン水和剤	ペルメトリン水和剤	住友化学株式会社
第15969号	サンケイアディオオン水和剤	ペルメトリン水和剤	サンケイ化学株式会社
第20919号	ガードベイトA	ペルメトリン粒剤	サンケイ化学株式会社
第21665号	協友アディオオン水和剤	ペルメトリン水和剤	協友アグリ株式会社
第21707号	協友アディオオン乳剤	ペルメトリン乳剤	協友アグリ株式会社
第22327号	野菜ひろばN	ペルメトリン粒剤	富士グリーン株式会社
第22431号	M I Cアディオオン乳剤	ペルメトリン乳剤	三井化学アグロ株式会社
第22646号	ホクサンアディオオン乳剤	ペルメトリン乳剤	ホクサン株式会社
第23948号	ベニカベジフル乳剤	ペルメトリン乳剤	住友化学園芸株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「てんさい」を削除する。

【適用表（今回、使用制限となる変更部分のみ）】

【変更前】

アディオオン乳剤、ホクコーアディオオン乳剤、サンケイアディオオン乳剤、協友アディオオン乳剤、M I Cアディオオン乳剤、ホクサンアディオオン乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
てんさい	ヨトウムシ	2000倍	100～300 L/10a	収穫21日前 まで	5回以内	散布	5回以内

アディオン水和剤、サンケイアディオン水和剤、協友アディオン水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
てんさい	ヨウムシ	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内

ガードベイトA、野菜ひろばN

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
てんさい	ネリムシ類	3kg/10a	生育初期	3回以内	株元散布	5回以内

ベニカベジフル乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
てんさい	ヨウムシ	300倍	100～300 mL/m ²	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内

【変更後】

(削除)

【申請者による変更理由】

現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和2年1月29日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17801号	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート水和剤	日本農薬株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

- ・作物名「だいず」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数
だいず	ハダニ類	1000～2000倍	150～300 L/10a	収穫7日前まで	1回	散布	1回

[変更後]

（削除）

【申請者による変更理由】

現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和2年1月29日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23556号	デュポン ベリマークSC	シアントラニプロール水和剤	エフエムシー・ケミカルズ(株)
第23557号	クミアイベリマークSC	シアントラニプロール水和剤	クミアイ化学工業(株)
第23559号	日曹ベリマークSC	シアントラニプロール水和剤	日本曹達(株)
第24090号	ベリマークSC	シアントラニプロール水和剤	エフエムシー・ケミカルズ(株)
第24226号	丸和ベリマークSC	シアントラニプロール水和剤	丸和バイオケミカル(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「非結球あぶらな科葉菜類」を「非結球あぶらな科葉菜類(こまつなを除く)」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	コガ ^ア アブラムシ類	4000倍	0.2L/m ²	収穫7日前まで	1回	株元灌注	1回

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
非結球あぶらな科葉菜類(こまつなを除く)	コガ ^ア アブラムシ類	4000倍	0.2L/m ²	収穫7日前まで	1回	株元灌注	1回

【申請者による変更理由】

「こまつな」は、密植した圃場にて植物体に薬液がかかる、すなわち使用方法「株元灌注」から外れた誤使用により、本作物の残留基準値超過の懸念が生じたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和2年3月11日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16575号	オンコル粒剤5	ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

- ・作物名「ピーマン」、「モロヘイヤ」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
ピーマン、とうがらし類	ミナミキイロ アザミウマ	0.5g/株	育苗期後半 又は定植時	1回	株元散布	1回
モロヘイヤ	アザミウマ類	1g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	1回

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
とうがらし類	ミナミキイロ アザミウマ	0.5g/株	育苗期後半 又は定植時	1回	株元散布	1回
(削除)						

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和2年3月11日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18190号	オンコル粒剤1	ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「ピーマン」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
ピーマン	アブラムシ類	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	1回

[変更後]

(削除)